



平成29年 7月14日

各 位

会 社 名 株式会社テーオーホールディングス  
 (旧 株式会社テーオー小笠原)  
 代 表 者 名 代表取締役社長 小笠原 康正  
 (JASDAQコード・9812)  
 問 合 せ 先  
 役 職 ・ 氏 名 常務執行役員 對馬 伸哉  
 電 話 番 号 0138-45-3911

特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩し  
 並びに業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、平成29年5月期決算において、下記のとおり特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しを計上することといたしましたのでお知らせいたします。併せて、平成28年7月14日に公表した業績予想値と実績値の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社の一部店舗及び保有する有形固定資産の土地の一部について、減損の兆候が見られたため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき再評価した結果、減損処理151百万円を行い特別損失に計上いたしました。

2. 繰延税金資産の取り崩しについて

当期の個別業績などを踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩すこととし、法人税等調整額に計上いたしました。その結果、法人税等調整額は321百万円となりました。

3. 平成29年5月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異

(平成28年6月1日～平成29年5月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	41,000	450	400	200	円 銭 31.98
実績値 (B)	40,187	32	139	△503	△80.40
増減額 (B-A)	△812	△417	△260	△703	—
増減率 (%)	△2.0	△92.8	△65.0	—	—
(参考)前期実績 (平成28年5月期)	40,021	198	79	△68	△10.87

#### 4. 修正の理由

売上高につきましては、建設事業において民間の大型物件の受注があったものの、木材事業において公共工事の減少に伴いフローリング（床板）施工工事の減少があったこと、及び流通事業において消費者の節約志向により、主力商品である衣料品、高額商品の家具・輸入品等の販売状況が低迷したことなどにより予想を下回りました。

利益面につきましては、建設事業において大型物件の受注などにより当初計画を上回ったものの、木材事業におけるフローリング（床板）及び合板の原材料価格の高止まりが続いたことにより売上原価を増加させたこと、流通事業においては売上高の減少に伴い当初計画を下回ったこと、及び住宅事業の販売用不動産の一部について、今後の販売可能性を考慮し「棚卸資産の評価に関する会計基準」に従って正味売却価額まで簿価を切り下げ、差額である89百万円を売上原価に計上したことなどにより営業利益は前回予想を下回りました。

経常利益につきましては、昨秋に北海道を襲った風水害に伴う損害などに対する受取保険金に加え、当社連結子会社である日産自動車販売会社2社における取扱車種の一部販売停止に対するメーカーによる補償金をそれぞれ営業外収益に計上したものの、営業利益の減少に伴い前回予想を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益については上記1. 2の計上などに伴い前回予想を下回りました。

以上